



我等行く手の



令和6年度
7月号
利根商
進路だより

4月からの1学期が終わり夏休みがやってきます。夏休みをどのように過ごすか、何か考えていますか?この長い休業の過ごし方に、2学期以降のあなたが変われるチャンスがあります。そこで、1、2年生は、2学期以降に向けた準備、3年生は大切な進路決定に向けた準備にじっくり取り組んで欲しいと思います。

そのため、目的をもって過ごせるように、1、2年生は1学期に苦手だった科目の克服や、将来に向けて気になる学校や職種について少し調べてみましょう。そして、3年生は就職・進学それぞれが進む道に向けて、企業見学やオープンキャンパスへの参加、試験科目の学習、公務員希望者は専門学校の試験対策講習会等に積極的に参加をしていきましょう。長い夏休みの時間を計画的に有効活用して納得のいく進路決定に向けて過ごして下さい。

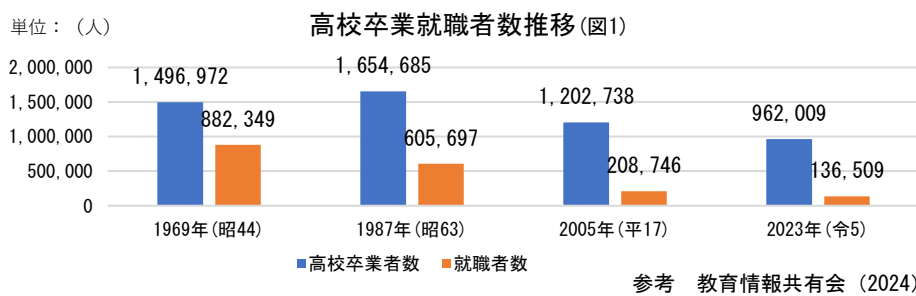


●2023年度は高校生求人倍率過去最高に

令和5年度に厚生労働省から発表された高校生の求人倍率が3.52倍と過去最高の倍率になりました。群馬県を確認すると高校卒業者向け求人倍率は3.68倍、就職率は男女計99.6%になっています(e-Stat)。つまり、本校にも県内、県外の様々な企業から求人案内が1,000件以上寄せられていることから、いわゆる売り手市場であったと捉えることができます。そして、今年度も続々と求人が寄せられています。

高校卒業就職者数の推移を確認してみると、1969年(昭44)の高校卒業者数は1,496,972人うち就職者数882,349人、1987年(昭63)には上昇するがその後年々減少し、2023年(令5)には高校卒業者数962,009人うち就職者数は136,509人となります(図1)。このような中、求人数が増えた要因は様々あるといわれますが、少子化の影響、大学などへの進学率の高まりによる就職希望者数の減少の他、コロナ禍以降の人手不足などが背景にあり求人数が増加したことが考えられます。

しかし、誰でも希望の会社に試験も受けずに入れるのかといえばそうではありません。企業側も会社のために頑張ってくれている人材を必要としています。そのため、一般教養試験(SPI試験等)や面接試験を実施していますので、学校での日々の学習はとても重要です。また、求人倍率が高い今は、大手企業を希望し入社できるチャンスがあるため、就職希望者は夏休みに基礎学力をしっかりと定着させ9月からの就職試験を勝ち取って欲しいと思います。



外部の方を招いて実施した3年生模擬面接講座の様子(6月19日)

●就職先を早期離職しないために

求人数は増えていますが、新規高卒就職者の早期離職率が高止まりしているという現状があります。厚生労働省によると令和2年3月に卒業した新規学卒就職者の離職状況は、就職後3年以内の新規高卒就職者は37.0%(前年度比+1.1)、新規大学卒就職者が32.3%(同+0.8)と公表されています。リクルートワークス研究所が2020年に行った調査では、高卒就職者全体の40%が3年以内に最初の企業を退職しており、この約4分の1に当たる10.7%が半年以内の「超早期退職」であることがわかりました(時事通信社)。この調査結果の就職活動に関するアンケートでは、「いろいろな会社と比較したかった」「職場見学がしたかった」という回答が並んでいました。

このことから就職希望者は、早期離職をしないためにも、夏休みを利用して企業見学に出かけて、必ず自分自身で確認してから就職したい会社を決めていきましょう。皆さんは企業にとっては「金の卵」です。進学する人も、希望する学校の就職先、就職率をこの機会に調査して、将来を見据えた進路先決定をしてみたいかがででしょうか。

今後の予定(進路関係)

- 7/22(月) 就職希望者面接講座
- 7/22(月)~7/26(金) 学習合宿
- 7/23(火)~8/19(月) 事業所見学期間
- 7/29(月)~8/2(金) 前期補習
- 8/20(火) 校内選考(就職)
- 8/26(月)~8/29(木) 後期補習
- 8/30(金) 2学期始業式
- 1、2年生各種テスト



見学しよう
相談しよう

